

北海道(札幌)

農科大學

八田三郎
様
台
座



國



九月十日

大阪市西區南堀江通壹丁目
勝本忠兵衛

お上達の日の降おとす
冷きお供し申の御ま婦
あつ十二日刻帰政は永
口誌お可とて厄介に御成
お上のお事し玉に御察見
お全社の件は御遊このり
慶お書院あつお存信
能お銘所仕に實とあつ
十百の巻巻んて體よと
初巻におおつけ巻物出さ
てあつあつお事し書物
之州一よりお御職名の
おふ巻報とおおを居り一巻
初居りあつ十二日刻帰政
初おに仔一お時を過り居ん
おお立話おおお矢張り

この世の運はまはるが如く
増上、二人を道へ導き
お路女と云ふは、何の社の
もごに托けしからと申は故
かを言下こ

自分か能能で素人で
おんやり故多居先を
か何もかも一人ごを
たさるのを見と家守了
火気の毒と恐瑞致し
居りまふ

乙甲一室の人を係向也
と就て様々言ひ見お
漸踏、何ん本坊云と云
多しお山と流す可
申居ら丸と申居ら
成り居らと有
多勢矢、何ん申居ら

店りま

乙甲一室の会係問題

乙就乙様との意見交換

激踏、他本場会乙

道村山之流可

申居らるる事

成功証書の有

と報告可申す

可部大司申す

カト吉

成報
成部

田老之
の文

今好まぬ
の事